

授職部就職會員に動員下令し、特別手當と云ふ得体の知れぬ報酬を出して臨時便衣隊を設け、一意投票掻き集めに没頭した。

選挙は政權を有するものが勝つのが常則で、コソ泥試合の勝つ子は當然協會に上がるであらうが、爾後の會務遂行上に困難を齎らす事も亦頗る明白であるので私は十二月八日常務理事に親展狀を以て貴下の職權により、斯かる不正極まる選挙を無効とし、會内對立感情を解消し、改めて公正なる選挙を行ふに非ざれば拾遺し得ざる混乱を來たすであらふ事を注意したが觀みられなかつた。

此間に處して最も醜體を演じたのは社外船同志會である、常任幹事をやつて居るのは協會の理事にならなかつたためだとか給料(協會からの)増額の樂しみがあるからだとか云ふ下等な人物を理事候補に推薦したり或は大會の決議を無視して投票掻き集めをや、幹部派の尻馬に乗つて泥試合に参加した。

斯くて二月二十五日は來た、多數の制私服警官に依つて會場の内外が警戒された事。午後六時から翌午前二時半に至る長時間をゴッ通しに殺氣立つ赤茶の緊張を續けた事も、

會員に非らざるものが多數入場して居つた事も悉く從來見ない所であつたが、票決委任狀の數を恃み傲然と會員大衆に臨み質問に對する應答が悉く詭辯と曲辯に終始し誠意の片鱗も見せない理事者だけは一寸も從來と變りがなかつた。

總會の様子は論戰速記録が近く聯盟から出版されると聞くので論争の主要点のみを摘録するに止めて置く。

◎金比羅問題

金比羅權現建立に關し、濱田海員組合長は其祝辭演説に於て海事協同會委員會で船主協會から得た五十萬圓の使途には一切の條件はない。

此の一部を金比羅權現建立費に寄進したのは、海員の幸福と、海運發展祈願のためである旨を力説し、尾崎常務理事は濱田氏の過去の功績と協會に對する厚誼に報ふるものと説明した。

コレに對し聯盟側より右海事協同會委員會の決議録を讀み上げた。曰く「船賃改善助成法に依る失業海員救濟資金として金五十萬圓を寄附する」と其使途は明白に條件を附し